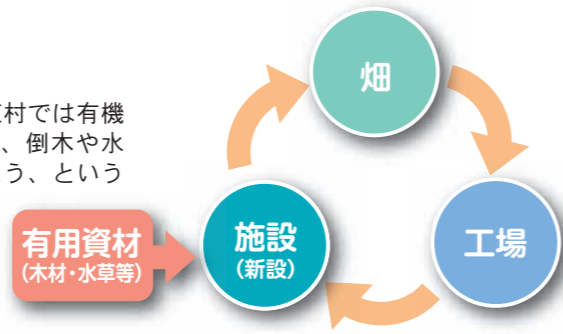


循環型農業推進事業

高額な輸送費等による高コストや病虫害侵入への懸念から、南大東村では有機肥料（堆肥等）が積極的に活用されていないのが現状です。そこで、倒木や水草・汚泥等を活用した、豊かな土作りのための土壌改良材を製造しよう、というのが、この事業の概要です。

島内の有用資材を活用して土壌改良材を製造出来れば、島内の資材の循環で優良な土作りを実現でき、その結果、農業生産性の向上につながるかと期待されています。



期待される土壌改良材の三本柱

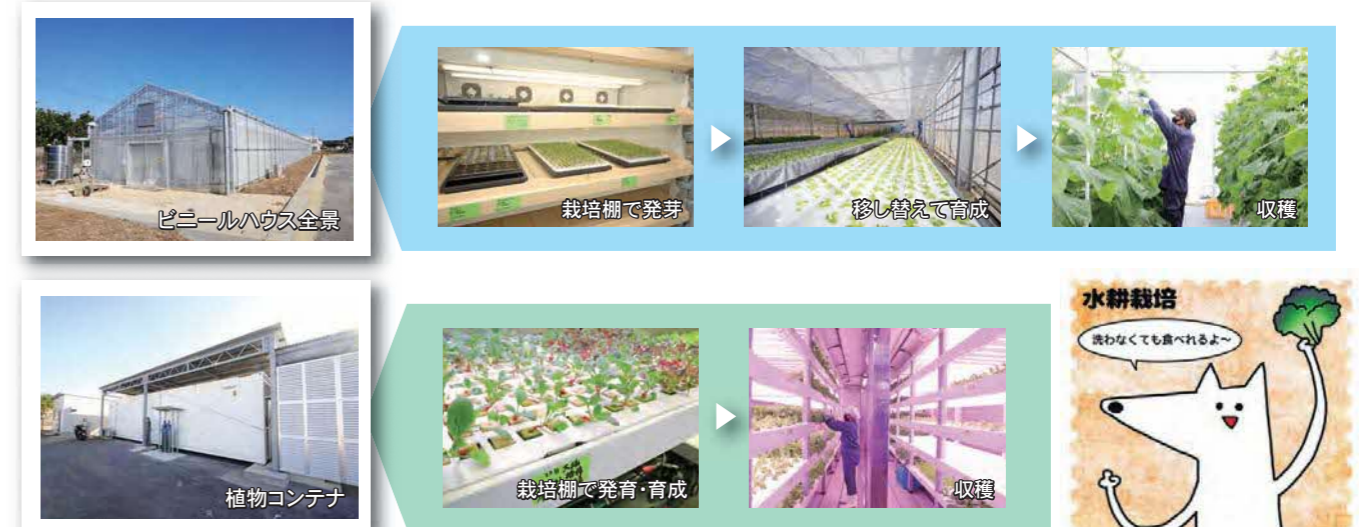


サトウキビ栽培の流れ



水耕栽培で新鮮かつ無農薬の葉野菜を供給

生活物資のほとんどを週に一度の船舶により島外から仕入れていますが、船舶は天候の影響等により欠航することがあります。長期保存できる商品については、欠航に備えて多めに仕入れることができますが、葉野菜は鮮度管理が難しいため、多めに仕入れたとしても長期保存は困難です。そのため船舶の欠航が続いてしまうと長期欠品することがありました。植物コンテナやビニールハウスの整備により、年間を通して島内での葉野菜生産が可能となり、船舶欠航による欠品を防ぐとともに、島民・学校給食に対し葉野菜を安定供給することができるようになりました。



水耕栽培でつくられた葉野菜はこのシールが目印 → 地産地消促進協議会